

日本サッカー協会（JFA）は2016年4月1日、グラスルーツ推進の一環として「JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度」をスタートさせた。本連載では賛同パートナーそれぞれの思いや活動内容について紹介する。

“3つの宣言”で クラブの方向性が明確に



横浜市栄区を拠点に活動する公田サッカースポーツ少年団は、「引退なし」「補欠ゼロ」「障がい者サッカー」とJFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度が掲げる3つのテーマすべてにエントリーしている。

まずは「引退なし」。40年以上もの歴史を持つクラブだが、中学進学にもなるとサッカーを辞めてしまう子どもも少なくなく、現在は卒団生とのつながりが薄い。富田兄一郎代表は「小学校を卒業すると同時にチームとの関係が途切れてしまう」と問題点を挙げ、「昨年からはOBに対して定期的に連絡を取り合える仕組みをつくり、サッカーを続けていきたいと思います」と、推進し始めた」と改善策を講じている。

その一環として、生涯サッカーとの接点にしてもらおうと年に1回のOB会の開催を予定している。選手の半分以上は地元の中学校に進学するため、卒団生が在学する中学校との連携が鍵になる。富田代表は「中学校との関係を深め、我々も継続的にサッカーが続けられるような環境をつくっていききたい」と語り、卒団した子どもたちとつながりを継続することで「“公田ファミリー”みたいなものを築いていければ」と青写真を描く。

「補欠ゼロ」に関しては、すでに取り組みが進んでいる。クラブには幼稚園の年少から小学6年生まで、およそ90人が在籍。さまざまな大会や試合がある中で、全ての子どもたちが同じだけの試合に出場できるように配慮している。

全選手に出場機会を与えながら、試合での結果も追い求める。「チームのみんなで協力して、勝つ喜びを味わわせてあげたい」と言う富田代表は、近隣のクラブの指導者にその考えを共有してもらいたいと補欠ゼロの大会を企画した。といっても、もともと開催されていた大会のルールに、それまで明文化されていなかった「全試合出場」を条件に盛り込んだもので、今年は富田代表の考えに賛同した近隣他市の5チームが参加した。

現在、クラブには小学校の特殊学級に通っている二人の4年生が所属している。富田代表は「障がい者がスポーツをする環



境が少ない。だからこそ、地域のクラブである我々が、そういう場を提供していくことが僕たちの使命だと思っている」と語る。

今年1月28日、クラブは日本ろう者サッカー協会の植松隼人コーチとデフサッカー日本代表候補の原口凌輔選手を招いて「手話deサッカー」というイベントを実施した。体を動かしながら手話を覚えるという内容で、コミュニケーションスキルの向上と障がい者への理解を深めたいという狙いがあった。富田代表は「最初、子どもたちは委縮するかなと思ったが、意外と順応性が高く、大人よりも積極的にコミュニケーションをとっていた」と話す。多くの人々が関心を示すなどイベントの成功を受け、「ろう者の少年チームとも交流したい」（富田代表）など今後の構想も見据えている。

「地域の子どもたちを集めてサッカーをやっていく中で、障がい者を受け入れることや補欠をつくらないことの大切さはなんとなく理解していた。その思いをクラブ全体で共有し、有言実行していききたいと考え、賛同パートナーに申し込んだ」と富田代表。以前は共通するコンセプトに対してコーチらの考え方にばらつきがあったが、賛同パートナーへのエントリーを機にコーチ陣の中にも共通認識が生まれてきた。現在は、クラブ一丸となって地域クラブとしての理想像を追い求めている。

— 私達のグラスルーツ宣言 —

<引退なし>

公田SCは、いつでもだれでもずっとEnjoy出来る環境を提供し、引退はありません。

<補欠ゼロ>

公田SCは、みんながPlayし主役です。補欠はいません。

<障がい者サッカー>

公田SCは、だれでもだれとでもサッカーを通してJoinします。スポーツに引退はありません。多くの人々がスポーツを気軽にできるスポーツ環境づくりが大切です！世代を超えてスポーツを楽しめる世界をつくりましょう！

※情報提供：サカイユ（<http://www.sakaiku.jp/>）、原山裕平

■ JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度とは？

「JFAグラスルーツ宣言」に賛同し、JFAと共に行動していただける団体と仲間になることで、グラスルーツサッカーの環境改善を推進することを目的とした制度です。本制度の賛同パートナーになってもらうことで、その活動の理念や内容が好事例として日本全国に広く伝わり、JFAと同様の考え方で進められている活動であるという理解が深まることを期待しています。また、さまざまな好事例を多くの方と共有することで、全国により良い環境が広がるきっかけにしたいと考えています。

「引退なし」「補欠ゼロ」「障がい者サッカー」の3つのテーマのもと、賛同パートナーを募っています。

●「引退なし」



●「補欠ゼロ」



●「障がい者サッカー」



詳細はこちら ⇒ http://www.jfa.jp/football_family/grassroots/partner.html